

技師キャリアデザインボードゲームプロジェクト 趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、「技師キャリアデザインボードゲームプロジェクト」を立ち上げる運びとなりました。つきましては、以下の内容をご確認いただき、この趣旨にご賛同いただきますよう、皆様のご協力を是非ともお願い申し上げます。

謹白

記

1. プロジェクトの背景

臨床検査業界をわくわくした場にはできないかというテーマで始まった臨床検査×わくわくプロジェクト、通称りんわくは、全世界で活躍する日本人臨床検査技師ホルダーが100人登壇し、自身の想いを語る「臨床検査技師100人カイギ」をきっかけに始まったプロジェクトです。毎年4,000人ほどの「新」臨床検査技師が生れる日本ではありますが、活躍する場の多様性や医療機関で働いたときのキャリアステップの情報は少なく、検査技師学生や若手技師へはなかなか伝わっていないのが現状です。そんな背景を受けて、この度、臨床検査技師のキャリアを題材にボードゲームを製作し、ボードゲームを通じたキャリアデザイン講座を全国の養成学校等で展開できないかとプロジェクトを立ち上げました。臨床検査業界をわくわくする場にしていけるべく、あたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2. プロジェクトの目的

国勢調査(令和2年)の結果では、臨床検査技師は全国に約8.2万人いるとされており、そのうちの多くは医療機関に勤めています。医療機関の中では、無くてはならない臨床検査の専門家として縁の下の力持ち的存在である一方で、検査室から頻繁に出ることは少なく、業務の内容や各技師がどのような専門性をもって活動しているのかは、あまり伝わっていない現状があります。このような背景もあり、一般の方々からすると、同じように医療機関で働き画像検査に携わる「診療放射線技師」と混同する場合も少なくありません。直近のLINEリサーチの調査では、高校生のなりたい職業TOP10の女性部門において6位と輝かしいポジションを獲得しましたが、「診療放射線技師」と合わせてのTOP10入りであり、臨床検査技師としての社会的認知度と職業としての魅力発信には課題が残る結果となりました。

加えて、臨床検査技師になるためには、臨床検査技師の養成学校(大学・短大・専門学校)又は薬学系大学などでの指定科目を修めるなど専門教育を経る必要があります。また、3年間または4年間の教育課程の末、卒業とともに国家試験を受験し、合格すると晴れて臨床検査技師と名乗ることができます。このような養成学校では、全ての科目は必修で落とすことができない仕組みであることが多く、座学を中心とした講義に加えて、検査の手技を磨くための実習も課せられているため、しっかりと勉強に向き合う必要があります。このような学生生活は、日々の勉強と国家試験合格という目標に向けた研鑽に追われ、未来に向けた自身のキャリアを考える余裕と場が少ないという課題に繋がっています。

このような課題意識から、2022年1月から2023年8月までの計20ヶ月行った臨床検査技師100人カイギでは、全世界で活躍する日本人臨床検査技師が毎回5名ずつ登壇し、自身のキャリアと想いを語りました。総参加人数は2000名を越え、学生の参加も約700名近いものとなり、臨床検査技師の多様な生き方と働き方に多くの方が興味を持ち、課題意識を感じていることが分かりました。そのような経験から、私達は臨床検査技師には非常に大きな可能性があり、様々な働き方

とキャリア形成の仕方を発信することの重要性を感じています。しかしながら、それらの情報が上手く行き届いていないという課題があり、このボードゲームを開発することにしました。

3. ボードゲームの概要とボードゲーム活用したキャリアデザイン講座の実施に向けて

本ボードゲームは、臨床検査技師100人カイギにご登壇いただいた100人の臨床検査技師の想いと、それを支えた運営メンバーの想いを可視化し基本構想をデザインしています。また、医療機関勤め、養成学校教員、企業勤め、フリーランス、技師会役員経験者などの多様なバックグラウンドの臨床検査技師(下記参照)によるディスカッションを経て、カードの内容を決定しております。加えて、イラスト作成においては画像生成AIをはじめとした先端技術を活用し、現役技師および学生の試験的プレイを経て、製本に至っております。

<技師キャリアデザインボードゲームプロジェクトについて>

URL: <https://youtu.be/TLqE7KNfy9s>

<技師キャリアデザインボードゲームプロジェクトメンバー>

上野大 臨床検査技師 弘前大学
笛吹和代 臨床検査技師 個人事業主
大西雄介 臨床検査技師 掛川東病院
小笠原篤 臨床検査技師 静岡医療科学専門大学校
河合正行 臨床検査技師 石和共立病院
神戸翼 臨床検査技師 永生総合研究所
佐藤哲郎 臨床検査技師 エモリー大学公衆衛生大学院(大学院生)
關谷暁子 臨床検査技師 北陸大学医療保健学部
高橋聖弥 臨床検査技師 Bio-Techne Japan
高橋貴行 臨床検査技師 永生病院
竹澤理子 臨床検査技師 三井記念病院
中山章文 臨床検査技師 岐阜医療科学大学
服部博明 臨床検査技師 フリーランス
藤巻慎一 臨床検査技師 東北大学病院
宮崎隼 検査学生 日本医療大学(学部生)
三好雅士 臨床検査技師 徳島大学病院

※五十音順

※2024.1.22時点

また、ボードゲームを活用したキャリアデザイン講座については、今後養成学校と地域技師会などと協働しつつ、プログラムの内容を含めて、詳細を決めていくことを想定しています。現状では次のような利用方法を考えています。

01. ボードゲームの実施: ボードゲームを仲間と楽しみながら実施する。わくわくを感じつつ仲を深め、キャリアについて自然と体感する。
02. グループでの振り返り: ゲームを通して、キャリアについてどう感じたか、臨床検査技師の可能性はどうかを共有する。
03. 全体での共有と講義: 各グループでの内容を全体で共有し、講師による解説とキャリアデザインの必要性について説く。また、モデルの紹介なども行う。
04. 個人での振り返り: 本日の自身のキャリアについて、どのように歩んでいったか、ポイントは何か、もっと必要だったものはを考え、自身のこれからの繋げる。

4. ご支援の方法との活用方法

(寄附金)

現在、Readyfor社のプラットフォームを活用し、クラウドファンディングを実施し、活動資金の寄附をお願いしています。

支援サイト: <https://readyfor.jp/projects/kensa-wakuwaku>

目標金額: 100万円(実施期間: 2024年3月3日 23時まで)

支援金の使途: ゲーム制作費(25セットを想定)、養成学校への出張費、ボードゲーム説明用HPの制作費、認定臨床検査技師キャリアアドバイザー(仮)の準備費、法人化費用、クラウドファンディング手数料、その他諸経費

尚、団体様のご支援の場合は、上記サイト掲載の特典が異なる場合がございます。「団体様からのご支援イメージ(kensa.wiki/index.php/2024/02/13/4720/)」もご参照ください。また、Readyforでのクラウドファンディング終了後は、団体口座への直接寄付も受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

(広報協力)

本プロジェクト活動について、情報発信・情報拡散等のご協力をお願いしております。プロジェクトの情報発信の場の提供、本プロジェクト主催イベントの広報協力をいただける場合は、是非ご連絡ください。

現在配布中のチラシ: <https://kensa.wiki/index.php/category/pj1/flyer/>

現在配布中のポスター: 準備中

(その他)

今後、認定臨床検査技師キャリアアドバイザー(仮)の制度構築、各地域、各養成学校におけるキャリアデザイン講座の企画・実施を検討しております。協働いただける団体様、個人様は、是非ご連絡ください。

5. お問い合わせ先

メールアドレス: info@kensa.wiki

以上

2024年2月12日
臨床検査×わくわくプロジェクト
代表 神戸 翼